日新小だより

令和７年７月１８日
終業式号
府中市立日新小学校
校　長　　山田　隼土

熱中症対策をしながらも、たくさんの体験を！

副校長　近藤　英仁

梅雨の季節でしたが、６月に入ってから雨よりも気温を心配する日々が続いています。日新小では環境省の予想を参考に、随時、WBGT（暑さ指数）を計測しながら、校舎外での活動を判断しています。

６月から９月にかけては熱中症予防要配慮期間ということで、今年度は授業の年間計画を見直しました。この期間、体育は校庭での活動を避けて体育館での学習を進めています。外での植物の観察等は、タブレットで写真を撮り、教室に戻ってエアコンの効いた涼しい環境でゆっくりスケッチしています。また体育学習発表会後の６月３日（火）の週より、水泳指導が始まりました。昨年よりも２週間ほど早いスタートです。先生方が計画的に進めていた結果、すべての水泳指導は７月７日に終えることができました。７月に入ると熱中症指数が上がって実施ができない日々が増えているので、早く進められてよかったです。

熱中症予防のための
のぼり旗

７月７日（月）着衣泳（６年）

２１日（月）から、長い夏休みが始まります。今年も猛暑が予想され、海や川の事故も心配されるところです。先日、府中市より熱中症予防につなげる「のぼり旗」が届きました。本校ではだれもが確認しやすい校庭の朝礼台に掲げています。子供たちはのぼり旗を見て、校庭で活動できるかどうかを判断しています。校庭に出られたとしても、水分をしっかりとり、帽子を被って外に出るようくり返し指導しています。７日（月）には着衣泳（６年生）を実施しました。服が濡れたら思うように動かないことを知り、服やペットボトルを使って浮く練習をしました。これも水難事故に対する備えです。

日新小の校舎の横には小さな農園があります。空が曇って外で遊べる休み時間は虫採りをする子たちでいっぱいです。子供たちにとって、直接触れる体験、自然と触れ合う機会は何より代えがたいです。暑い日々が続き、いろいろな危険もある夏休みですが、そのような対策をしながらも、貴重な体験・経験を積ませられる休みを過ごしてください。

★日新小版「家庭学習のすすめ」の配付について★

日新小版「家庭学習のすすめ」を作成し配付しました。夏休みはご家庭で過ごす時間が長くなります。この冊子を活用していただき、ご家庭でどのように過ごすのかお子様と話し合ってください。計画的に学習が進められるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

【　社会科見学　】（6年生）

担当　藤山　美裕紀

６月２４日（火）に、科学技術館と国会に社会科見学に行きました。科学技術館では現代から近未来の科学技術や産業技術に関する知識を学ぶことができます。２～４人のグループに分かれてそれぞれの興味があるブースに見学に行きました。展示や体験などを通して新しい発見があったようです。２時間たっぷり見学をすることができました。

昼食後は国会に見学に行きました。見学する学校が多く、ゆっくり説明をしていただく時間はなかったのですが、教科書やテレビで見ていた風景が目の前にあり、子供たちは目を輝かせて見学をしていました。

【　サマーフェスティバル　】（４年生）

担当　高屋　陽央

７月５日（土）に府中第八中学校で開催されたサマーフェスティバルに参加しました。サマーフェスティバルでは、体育学習発表会で踊った「銀河鉄道９９９～友情パワーで発進！～」を少しアレンジし、３３人で披露しました。

練習の中で、「１番はみんなで動きを合わせること」や「２番は動きをずらして表現すること」など、体育学習発表会でしたことを常に意識している姿が見られました。本番では、体育館のステージ付近いっぱいを動きながら楽しく表現することができました。終わった後は、「楽しかった！」「また参加したい！」など子供たちから前向きな言葉も多く聞こえ、子供たちにとってとても素敵な経験になったと思います。

【　読書活動　】

担当　小野田　幸

６月の半ばに前期読書旬間（６／１７～６／２７）がありました。今回の企画は、図書委員による各学級（１～４年）への読み聞かせです。司書の丸尾先生と相談して、対象学年児童が興味をもちそうな内容の本を選びました。

保護者や卒業生の保護者のボランティアさんによる朝の読み聞かせも始まっています。本選びのセンスや巧みな語り口調で、本の世界に多くの児童が引き込まれています。

１年間で目標のページ数（低学年１００冊、中・高学年⇒学年×1000 ページ）を読めると、「読書マスター」として表彰されます。たくさんの本に触れ、心豊かな読書マスターになってほしいです。読むことでイメージモデルがつくられ、思考力が向上します！

【　水泳指導　】

担当　齋藤　華苗子

今年も安全に水泳の学習を終えることができました。熱中症に十分に留意して、こまめな水分補給を取りながら指導をしました。泳ぐとは、「浮くこと」「進むこと」「呼吸法」がとても大切です。１年生と２年生は水遊びの中から、その感覚を学習します。３年生になると「けのび」を基本として、バタ足やクロール、平泳ぎへとつなげていきます。５年生の授業では導入で浮く練習をしていました。６年生は今年から「着衣泳」を実施しました。着衣泳とは、服を着た状態で浮く動作です。数秒・数分泳ぎ続けることは難しいですが、着衣泳の浮く感覚を身に付けることで、水面で呼吸することが可能となり、自分の身を助けることに繋がります。初めて体験をした６年生は「服を着たままだと、全然浮けない！」「ペットボトル１本あるだけで随分浮くことができる。」と　驚いた様子でした。

【安全で楽しい夏休みを過ごすために】

担当　海老原　雄一郎

いよいよ明日から夏休みが始まります。子供たちが安全に、そして規則正しい生活が送れるよう保護者様の御協力をお願いします。

以下に、夏季休業日中、特に気を付けていただきたいことをお知らせします。各学級でも指導していますが、御家庭でもお子さんと確認していただきたいです。別紙「楽しい夏休みを過ごすために」を読んでいただき、子供と夏休みの過ごし方について話をしてください。

２学期に、元気な子供たちと会えることを楽しみにしております。有意義な夏休みをお過ごしください。

1. かけがえのない「いのち」を大切に！【交通ルール・ヘルメット着用の徹底】

夏季休業中は、自分で行動する場面が増えることが予想されます。そこで気を付けていただきたいことが、交通事故に遭わないようにすることです。一学期には、東京都内でも小学生の悲しい事故が何件かありました。ぜひ、道路の危険性をもう一度確認し、お子さん自身が交通ルールを守り、周囲の状況にも目と気を配れるように話していただければと思います。自転車に乗る時には、大人も子供もヘルメットの着用をお願いします。

2. 川や海での遊び方を確認しましょう！

毎年、この時期になると小・中学生でも水の事故が起きています。子供たちは、足が付く浅いところだから大丈夫だと思いがちですが、川は急に深くなるところがあったり、流れが急になるところがあったりします。「楽しい夏休みを過ごすために」にもありますが、子供だけで多摩川などの川べりで遊ぶことは禁止です。御家庭でも必ず御確認ください。

なお、一般的に保護者や大人が同伴していても、急な増水や目には見えない離岸流に注意すること、またライフジャケットを着用するよう努めること等が水難事故防止にはとても重要です。

3. メディアコントロールを！（テレビ・ゲーム・タブレットなど）

夏季休業中のメディアコントロールも気になるところです。就寝時には、スマホ・タブレット等は保護者が預かるなど、使用する時刻や時間の具体的なルール作りについて、御家庭で話し合っていただきたいと思います。